

令和元年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、西川図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：西川図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
ネットワーキングを活かした課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数は7,913件で前年度比7.1%減。 ・図書館だよりなどにレファレンス事例の掲載を行った。	・前年度の下げ幅(13%減)よりは少なかった。 ・利用件数自体が西蒲区は他区と比較して少ないが、レファレンス受付件数は他館と同様の数値となっている。 ・郷土資料関係の問い合わせが多く、西蒲区の特徴でもあるので地域市民へ積極的にPRしていきたい。	3 大変評価する。12.5%	・「レファレンスってどんなことをしてくれるの。」と思う人がまだまだ多いと思う。 ・図書館の休館日はどの館も週1回にすべき。基幹図書館以外は週4回も休館する場合があります、これでは利用者は来ない。 ・西蒲区はまち歩きガイドの会が各地区にあるので、地域の歴史を調べていただけるよう図書館の史料のPRをしたらどうか。
	◆館の重点評価項目 くらしの課題解決に役立つ事業の実施及び情報提供	・地域の現状や社会情勢をふまえ、関係機関と連携しながら、くらしの課題解決に役立つ事業の実施や情報を提供する。	・新潟市の中でも高齢化率が高い。利用者の中にも配慮を要する場合が散見される。	・関連機関とのつながりを活かし、図書館で認知症に関する悩み相談会を実施することができた。 ・巻図書館ではボランティアグループ本の森のなかま・巻と共催し、老後の生き方についての講演会を開催した。	3 大変評価する。62.5%	
特色ある地域づくり分権型図書館に寄与する	◇全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・郷土資料の収集を積極的に行い、蔵書の充実を図った。	・貸出冊数は例年どおりであったが、郷土資料コーナーを令和元年度に移動したことにより、利用者の認知度が上がり、資料への問合せや、寄贈のきっかけとなっている。	3 大変評価する。62.5%	・中等教育で地域(郷土)のことを学ぶ機会がほとんどないことを考えると、このような形で図書館が郷土資料を収集し市民の利用に供することは極めて重要なことと思われる。さらなる充実をお願いしたい。 ・蔵書を増加させたということなので、企画をとおして生かしてほしい。 ・郷土資料に対する関心の高さに驚いている。地域には埋もれた古い資料もまだ多くあると思うが、できるだけ寄贈してもらえると良い。
	◆館の重点評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各図書館において、その地域に関連した資料を積極的に収集するとともに、コーナーを設置して活用を図る。	・西蒲区全体で郷土資料蔵書冊数が3.6%増。	・各館とも着実に蔵書を増加させることができた。 ・地域的に在野の研究者も多く、地域でまとめられた資料を受け入れることができている。 ・地域のコミュニティと共催で資料展示会を企画した(感染症拡大の影響で図書館での開催は中止)。	3 大変評価する。62.5%	
子ども・社会・民融合型読書推進する	◇全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。 ・赤ちゃんタイムの利用を促進する。 ・うちどく(家読)を推進する。	・西蒲区ではブックスタートを238人に実施(対象者255人、実施率93.3%) ・赤ちゃんタイムを区内4館で開催し、赤ちゃんとその保護者向けの読み聞かせを実施。 ・西川地区は地区内の小中学校と「うちどくシート」の取り組みを行った。	・ブックスタートは区健康福祉課と読み聞かせボランティア協力のもと、円滑に実施することができた。 ・西川地区は地区内の小・中学校に『「うちどく」ブックリスト』を配布し、うちどくシートを児童・生徒に書いてもらい、学校選出のものを西川図書館で掲示。親子で読書の一助となった。	3 大変評価する。75%	・「おはなしのじかん」は工夫しているということで、子どもたちに少しでも本に触れてほしいと思う。
	◆館の重点評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業や各館での子ども向け事業を継続して実施する。 ・学校図書館支援センターを中心に、学校図書館の支援を行う。	・「おはなしのじかん」を区内4図書館で実施。 ・夏休み、読書週間に合わせて各館で子ども向け事業を実施。 ・学校図書館支援センターが西区、西蒲区小中学校へ学校訪問、支援を行った。	・「おはなしのじかん」は利用が少ない館では来館者に適宜実施するなど開催方法の工夫を行っている。 ・各館でそれぞれ特色のある事業を行い、子どもと本をつなぐことができた。 ・学校図書館支援センターは業務相談、選書・除籍、授業に必要な資料の手配などの支援を行った。	3 大変評価する。57.1%	
市民参加型協働推進する	◇全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・西蒲区の図書館活動ボランティア数は1,189人。前年度比25%増。	・西川、巻のボランティア活動数が前年度比延べ100人ずつ増加。ほぼ毎日配架作業を行うボランティアが1名ずつ増えたことによる。	3 大変評価する。75%	・期待している。 ・それぞれの地区で工作や地域のイベントに参加することで、図書館のPRができていていると思う。
	◆館の重点評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・各館において地域のボランティアや民間団体等と一緒に事業を行うなど、市民との協働を推進する。	・共催、協働事業実施件数は19件。前年度比1件増加。 西川：美化ボランティアによる飾りつけと運動した本の展示 巻：本の森コンサート、講演会 岩室：産業まつりへの参加 潟東：夏、冬のおはなしかいと工作	・西蒲区全体で地域と協働した事業を展開することができた。 ・地域の需要やボランティア活動の場として図書館を広報し、できれば人同士のつながりを醸成できるよう地域との連携に努める。	3 大変評価する。62.5%	